



令和6年8月

No.13

管理者 岩槻愛子

～児童発達支援～

うだるような暑さが続いておりますが、皆さまにおかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。

太陽は「キラキラ」と輝き、子どもたちの額には汗が「キラキラ」。たくさんの汗をかきながらも、元気いっぱい活動しています。

ほっぷでは、こまめに水分補給を行い、活動にも「動の時間」と「静の時間」のメリハリをつけて適度な休憩を取りながら熱中症対策をおこない、子どもたちが楽しく元気に過ごせるように、環境を整えて支援を行っております。

まだまだ寝苦しい夜も続きますが、お体にはお気をつけてお過ごしください。



あそびのまなび

～ボールプール～



なんともいえない浮遊感。そして全身が包まれるような心地よさ。日常的に体験できない不思議な感覚が味わえるのが「ボールプール」の魅力です。

### ボールで全身の「触覚」が刺激される

ボールが触れることで「触覚」が刺激されます。身体を動かす際、脳では力加減の調整、身体のバランス調整、そして触覚、視覚など、さまざまな情報を整理して、適切な行動ができるように調整しています。発達の過程において、特に「触覚」が大きな役割を果たしていると言われており、ボールプールの中で手の先から足の指先まで、全身の触覚が刺激される事で、脳に良い効果をもたらします。

### 動作を遊びの中で自然に学ぶことで「運動能力」も発達

「ボールプール」は遊びの幅が広く、様々な動きが行えるのも魅力です。ボールをつかんで・投げて・取って・かき集めて、またその中に飛び込んだり、泳いだり、潜ったり、かきわけて歩いたり…。遊びの中で子どもたちはたくさんの動作を自然に取り入れ体験し、自然とステップアップできるのです。

このように、全身を使ってボールプールで遊ぶことが、触覚を刺激したり、自然と複雑な動きをマスターすることにつながり、子どもの脳を成長させてくれます。

子どもの発達を促すための活動では、「**楽しさ**」が最も重要になります。どんな良い活動も楽しくなければ継続して取り組むことはできません。子どもにとっては、遊んでいるだけで力が身に付き、できることが増えるので、楽しくてどんどん取り組み、さらに力がついていきます。

ほっぷでは、このように遊びの中から療育に結びつくように遊びを組み立てて支援しています。

**佐々木作業療法士 相談日**

**8月1日(木)・8月15日(木)**

※お子様の発達について質問や相談などがありましたら、お気軽に職員にお声がけください。

特定非営利活動法人セミナーレ ほっぷ  
988-0318

宮城県気仙沼市本吉町登米沢24番地1

☎:0226-25-7710

FAX:0226-25-7764

✉:seminare@iaa.itkeeper.ne.jp



# 7月の制作



## ダンボールハウス



ダンボールをつかってお家を作りました。デザインは二人のアイデアで、トンカチもダンボール製です！「安全第一」でヘルメットをかぶった「大塚くん」。○△□の型をトンタたいて型抜きして完成！完成したお家でままごとを楽しみました(๑´๑)

